

Junior Red Cross 新聞

R3.3.18

災害支援募金について

八月五日(水)・七日(金)の二日間、災害支援を目的とした募金を行なった。みなさんの協力のおかげで五千九百四十八円集めることが出来た。集めた募金は令和二年七月に起こった九州豪雨や大きな被害をうけた方々への援助として使われた。河川の氾濫や洪水、土砂災害により、多くの人が住む家を失くし、死者・行方不明者も出た。そんな被害の様子やその大変さを新聞やテレビを通して見ていたからこそ、少しでもそのような方々の力になることができて良かったと思う。

募金へのご協力ありがとうございました。

真尾



赤い羽根共同募金

佐藤

十月二十七日(火)、赤い羽根共同募金を実施した。たくさんの方々に協力いただき、三二七九円集めることができました。

赤い羽根共同募金とは、第二次世界大戦後、一九四七年から行われてきた。現在では、いろいろな町を良くするしくみとして、民間社会福祉施設や、団体の事業費など、地域のさまざまな福祉活動を支援している。

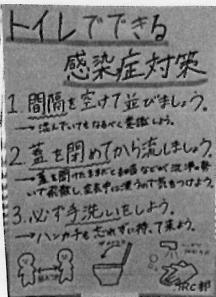
あなたは一人じゃない。

赤い羽根共同募金

コロナ対策(トイレ)

いまだ流行が絶えない新型コロナウイルスの感染者が県内の高校生でも確認されたことを受け、感染症対策のポスターを作成した。中でも、身元なトイレを下すぎる感染症対策について三つの観点から手とめた。一つ目として、トイレ前に列ができてくる様子をよく見かけるので、間隔を空けて並びよう注意喚起をした。二つ目としては、蓋を開けた手とめと細菌などが飛散してしまおうので、開けてから水を流すよう示し、三つ目に手花い必要とするよう、呼びかけた。トイレ前に貼ることで、効率的に感染症対策について注意喚起ができたと思う。

小栗



コロナ対策ポスター(手洗い)宮澤

新型コロナウイルスに感染する高校生が県内で増加していることを受け、感染予防としてできることをまとめたポスターを二種類作成した。そのうちの一つである手洗いは、新型コロナウイルス感染症予防にも有効的だが、なぜなら新型コロナウイルスは感染者が咳やくしゃみをしたときに口や鼻から飛び出す飛沫を直接吸い込んだり、ウイルスが付着している手指が眼、鼻、口の粘膜に触れることにより伝播するからだ。ポスターはイラストを取り入れ誰もがわかりやすいように工夫した。水道付近に掲示したことで多くの人に見ていただけたのではないかと思います。

30秒以上かけて洗おう

うがいもしよう

この手に消毒しよう